

平成30年度 浦安市小・中学生生活実態調査

結果概要版

■調査目的

本調査は、子どもを取り巻く社会変化や教育情勢と子どもの生活との関連性を客観的に把握し、分析することを通して、本市教育の充実を図るために実施しました。

■調査期間

平成30年6月25日～平成30年7月6日

■調査方法

質問紙による自記式調査（学校で実施・回収）

■調査項目

ふだんの生活について／勉強や読書について／
友だちや家の人との関係について／地域の人たちとの関係について／
ネットやメールについて／自分自身について／安全のことについて

■対象者の属性

性別／学年別回収サンプル数

	全体	小学生							中学生			
		計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生
男子	1958	1525	242	243	244	279	259	258	433	140	147	146
女子	1895	1460	224	243	235	249	250	259	435	146	145	144
性別無回答	14	12	2	3	3	3	0	1	2	1	1	0
全体	3867	2997	468	489	482	531	509	518	870	287	293	290

■その他

- ・複数の選択肢の割合をまとめる場合は、各選択肢の割合の合計値で表しています。
- ・小学校1～3年生を「下学年」、小学校4～6年生を「上学年」と表記しています。
- ・この概要版は、全調査項目から主な結果を取り上げてまとめたものです。

浦安市教育委員会

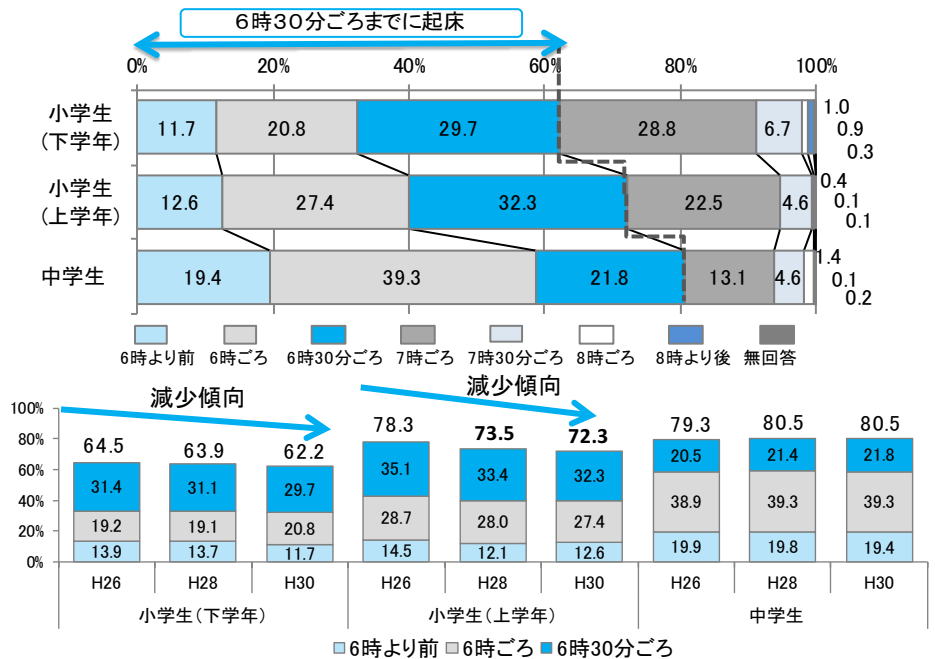
1. ふだんの生活について

Q 学校がある日は、朝だいたい何時ごろに起きていますか。

小学生下学年の約6割、上学年の約7割、中学生は約8割が「6時30分ごろ」までに起床している。

「6時30分ごろ」までに起床している割合は、下学年では約6割、上学年では約7割、中学生では約8割となっています。

前回、前々回の調査と比較すると、小学生で「6時30分ごろ」までに起きる割合が減少する傾向があります。



Q 学校がある日は、夜だいたい何時ごろに寝ていますか。

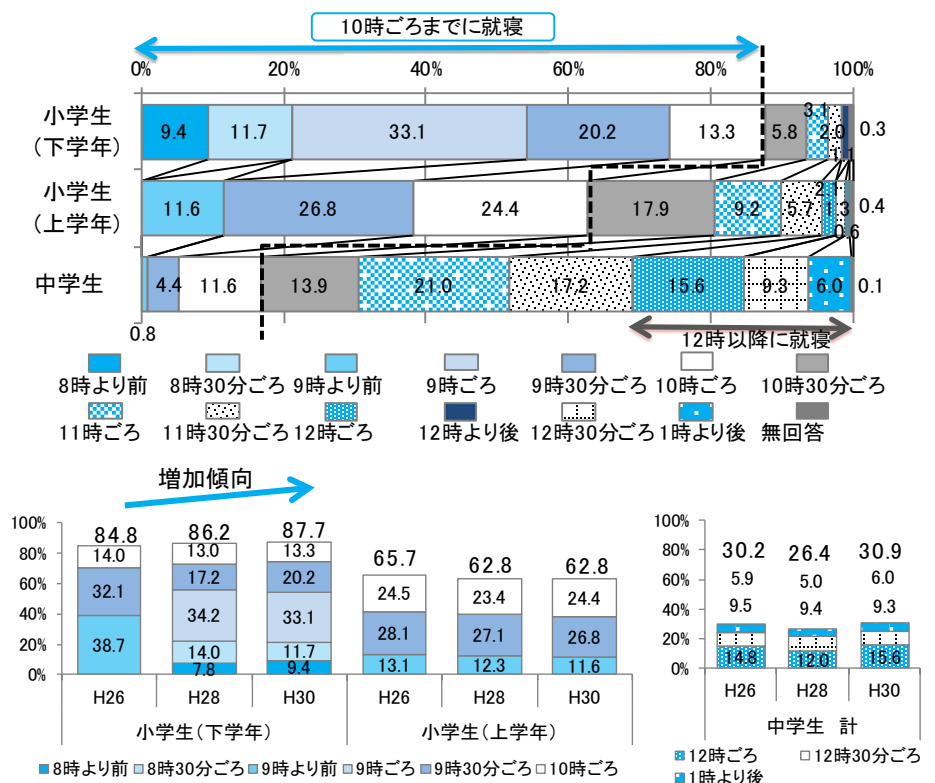
小学生下学年の約9割、上学年の約6割が「10時ごろ」までに就寝している。また、中学生の約3割が「12時ごろ」以降に就寝している。

「10時ごろ」までに就寝している割合は、下学年では9割で、上学年では6割を超えていますが、中学生では2割未満となっています。

また、中学生では、約3割が「12時ごろ」以降に就寝しています。

前回、前々回と比較すると、下学年では「10時ごろ」までに就寝する割合が増加しています。

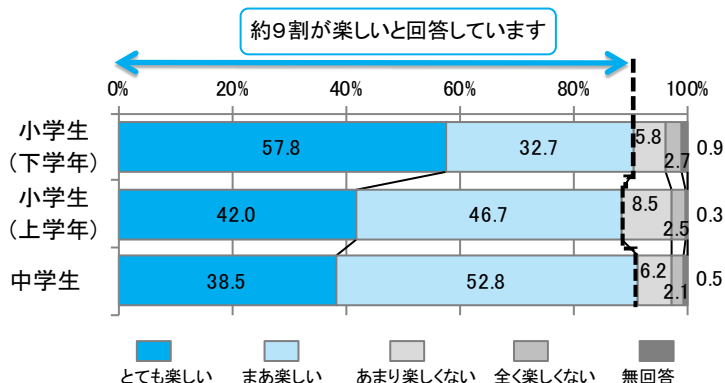
※「8時より前」「8時30分ごろ」「9時ごろ」は平成28年度、30年度の下学年のみ調査しています。



Q 学校に行くのは楽しいですか。

約9割の児童・生徒が「学校に行くのが楽しい」と感じている。

「学校に行くのが楽しい」(「とても楽しい」+「まあ楽しい」)の割合は、小学生・中学生ともに、約9割となっています。「とても楽しい」と感じている割合は、小学生下学年が約6割です。

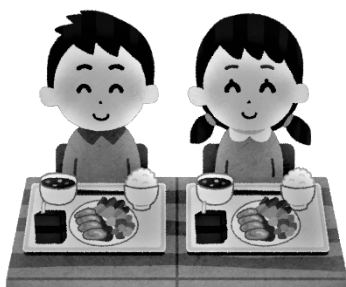
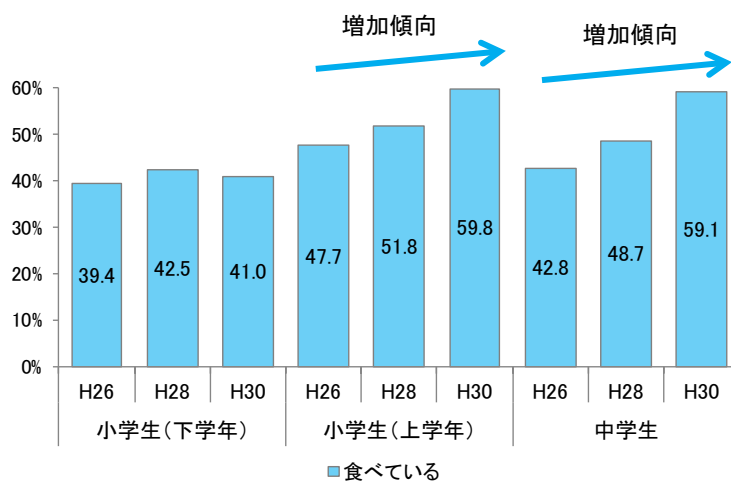


Q 給食を残さず食べていますか。

小学生上学年、中学生で「給食を残さず食べている」の割合が過去3回の調査で最も高くなっている。

「給食を残さず食べている」の割合は、下学年では約4割、上学年及び中学生では約6割となっています。

前回、前々回調査と比較すると、上学年では「給食を残さず食べている」の割合が増加しています。中学生では、前回調査と比べて大きく増加しています。



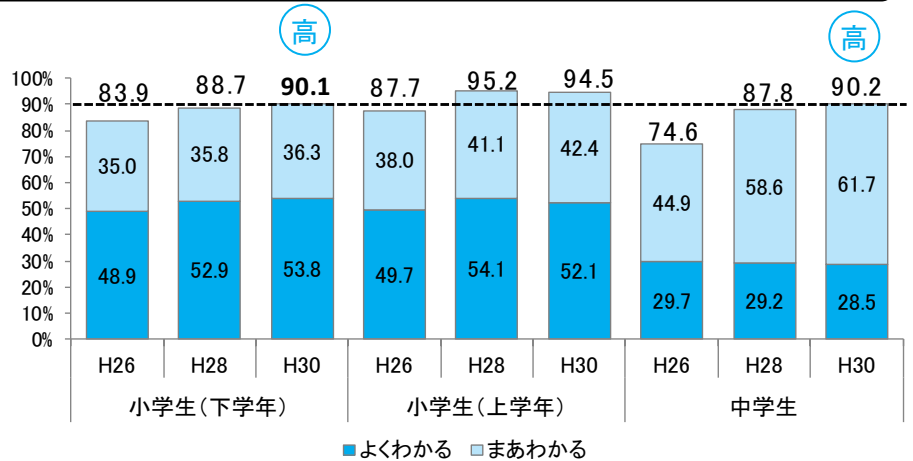
2. 勉強や読書について

Q 学校の授業の内容がわかりますか。

小学生下学年、中学生で「学校の授業の内容がわかる」の割合がどの学年も9割を超えている。

「学校の授業の内容がわかる」「よくわかる」「まあわかる」の割合は、どの学年層でも9割を超えています。

前回、前々回調査と比較すると、下学年、中学生で「授業の内容がわかる」の割合が最も高くなっています。

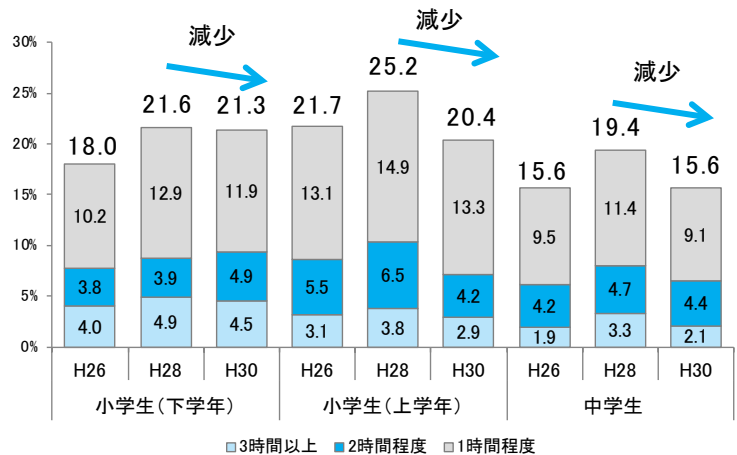


Q 学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。

「1時間以上読書をする」の割合がどの学年も減少している。

学校の授業時間以外に1日あたり「1時間以上読書をする」の割合は、小学生で約2割となっています。

前回調査と比較すると、どの学年でも「1時間以上読書をする」の割合が減少しています。

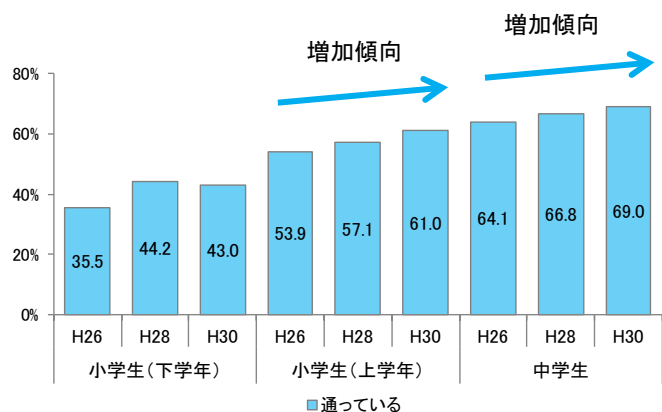


Q 学習塾（家庭教師の先生に教わっている場合も含まれます。）で勉強をしていますか。

小学生上学年、中学生で「学習塾に通っている」の割合が増加傾向にある。

「学習塾に通っている」の割合は、下学年では4割を超えており、上学年では約6割、中学生では約7割、学年層が上がるにつれて学習塾に通っている割合が高くなっています。

前回、前々回調査と比較すると、上学年、中学生では「学習塾に通っている」の割合が増加する傾向が見られます。

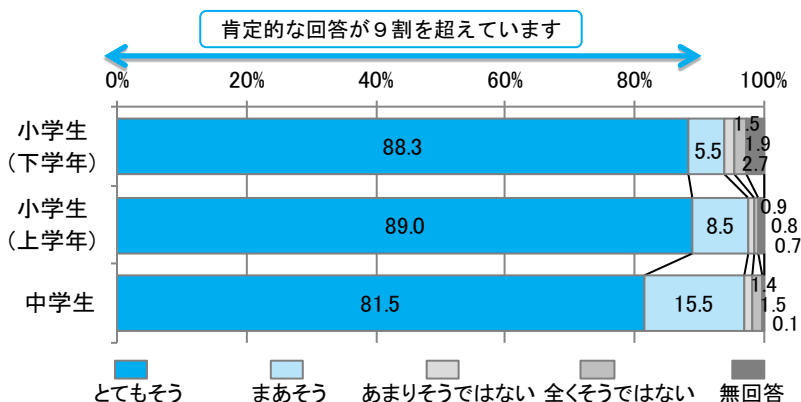


3. 友達との関係について

Q いじめはいけないことだと思う。

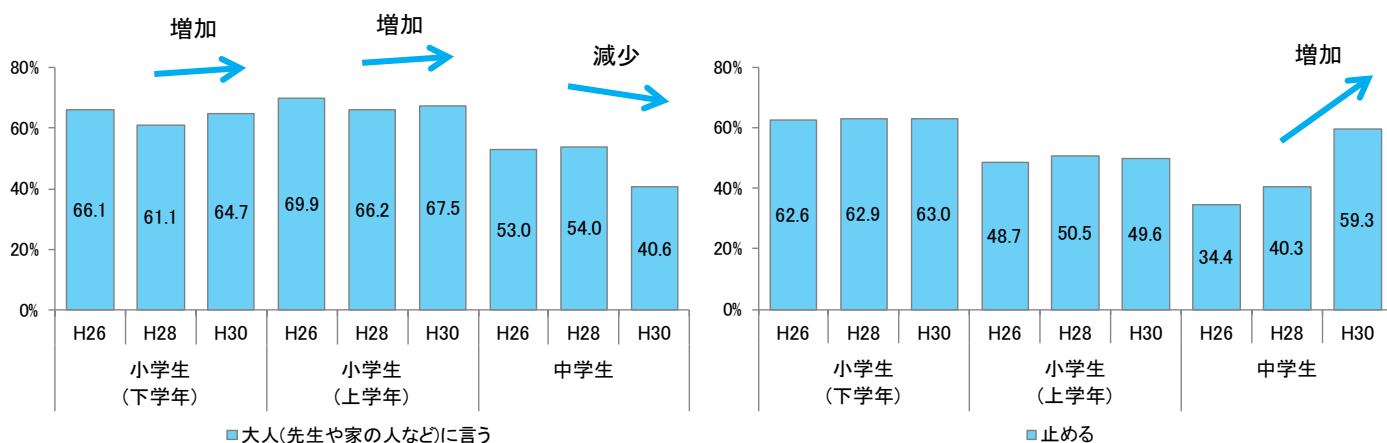
「いじめはいけないことだと思う」の割合が9割を超えている。

「いじめはいけないことだと思う」(「とてもそう」+「まあそう」)の割合は、どの学年層でも9割を超えています。



Q いじめを見たらどうしますか(複数回答)。

「いじめを見たら大人に言う」の割合は、小学生で6割を超え、中学生では4割を超えています。また、中学生では「止める」の割合は大きく増加しています。

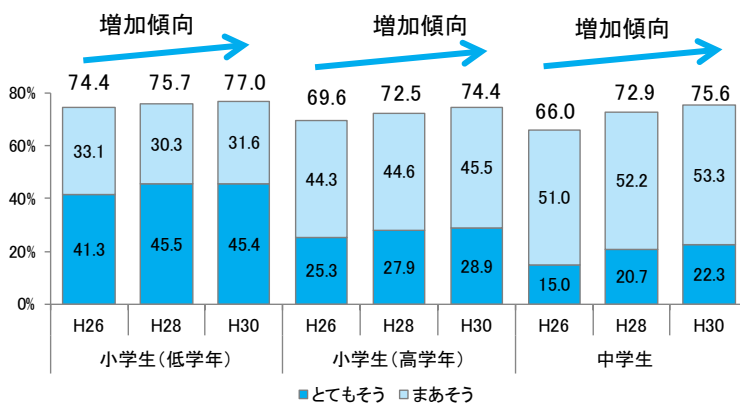


Q 友達が悪いことをしたときに、注意できる。

「友だちが悪いことをしたときに、注意できる」の割合が増加する傾向が見られる。

「友だちが悪いことをしたときに、注意できる」(「とてもそう」+「まあそう」)の割合は、どの学年層でも7割を超えています。

前回、前々回調査と比較すると、どの学年層でも「注意できる」割合が増加する傾向が見られます。



4. 携帯電話やスマートフォンについて

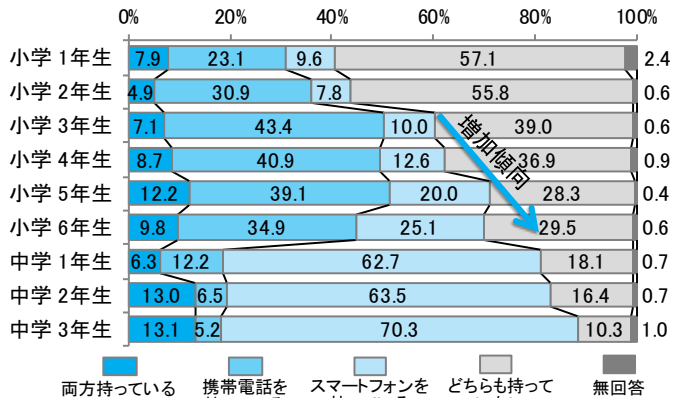
携帯電話やスマートフォンの所有率は小学3年生で大きく増加し、6割を超えている。全体としては、増加する傾向にある。

Q 自分の携帯電話やスマートフォンを持っていますか。

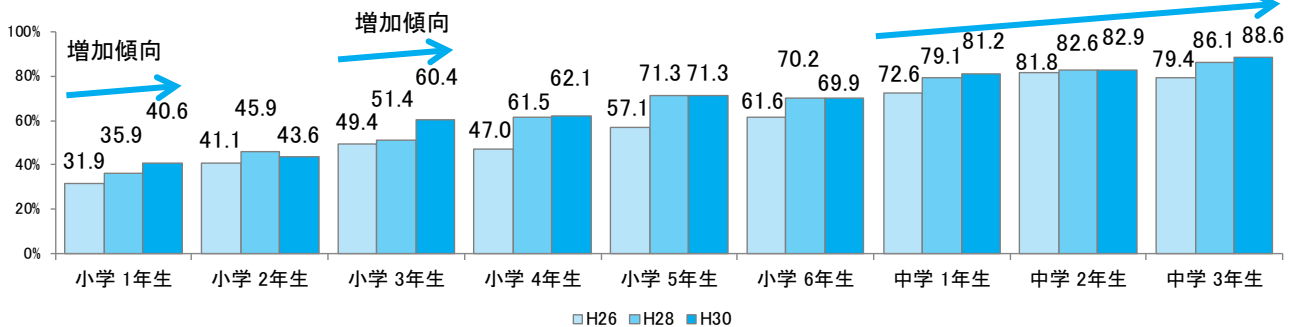
「自分の携帯電話やスマートフォンを持っている」の割合は、学年が上がるに伴い増加しており、小学3年生で約6割、中学生では8割を超えています。

小・中学生ともに、学年が上がるにつれて所有率が高くなる傾向があります。中学生では、スマートフォンの所有率が高くなっています。

前回、前々回調査と比較すると、小学1年生、3年生、中学生の所有率が増加しています。



携帯電話(スマートフォン)の所有率の経年変化

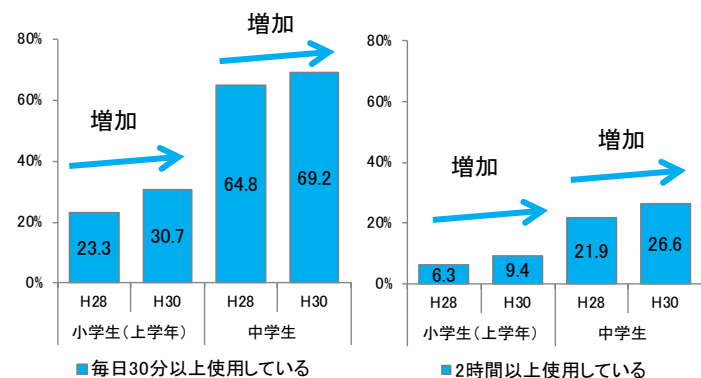


Q ネットやメールを毎日どれくらいしていますか。小学生上学年・中学生対象

ネットやメールを「毎日30分以上使用している」の割合は、上学年で約3割、中学生では約7割となっています。

「2時間以上使用している」の割合は、中学生で4分の1以上となっています。

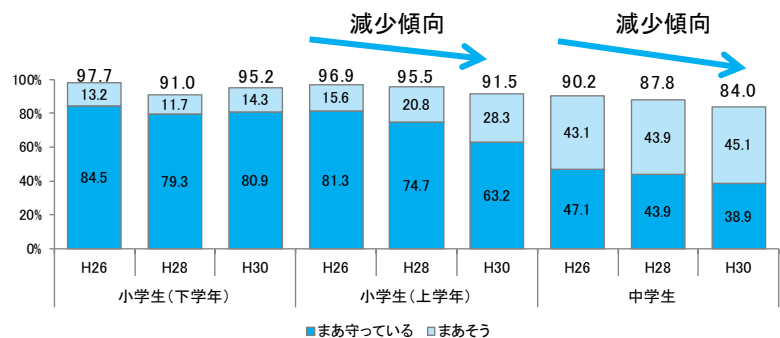
前回調査と比較すると、どの学年層でも増加しています。



Q ネットやメール、携帯電話やスマートフォンの使い方のルールを守っていますか。

「ネット等の利用ルールを守っている」の割合は、小学生では9割を超えており、中学生では8割を超えています。

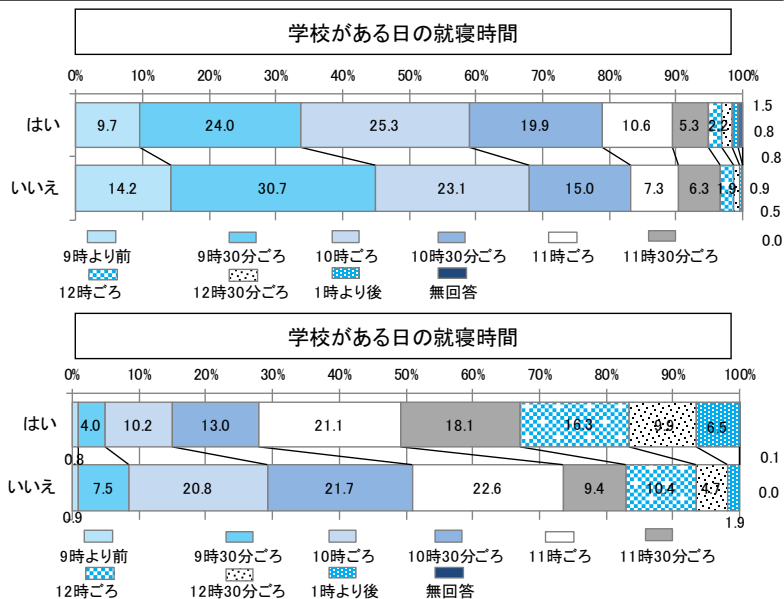
前回調査と比較すると、上学年、中学生の「ルールを守っている」の割合が減少しています。



Q 「SNS/動画等の使用状況」別に見た「学校がある日の就寝時間」(クロス集計)

SNS/動画等を利用している児童生徒の就寝時間は遅くなっている。

「SNS(ラインやツイッターなど)や動画アプリ(YouTubeなど)を使っている」割合と、「学校がある日の就寝時間」の相関を見てみると、小・中学生ともに SNS/動画アプリを利用していると答えた児童生徒の就寝時間は遅く、利用していないと答えた児童生徒の就寝時間は早い傾向が見られます。



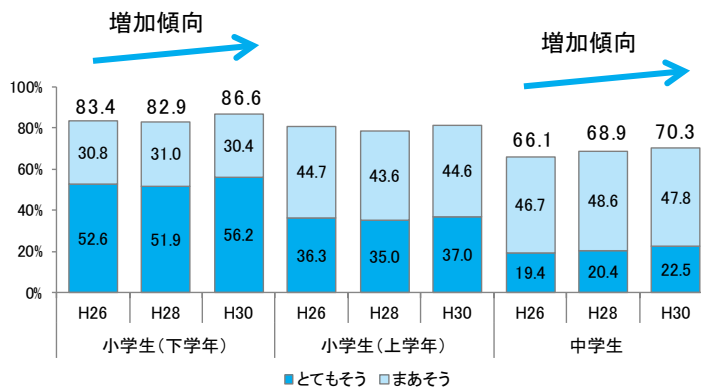
5. 自分自身について

Q 自分には、よいところがある。

小学生下学年、中学生では「自分には、よいところがある」の割合が増加する傾向が見られる。

「自分には、よいところがある」(「とてもそう」+「まあそう」)の割合は、小学生で8割を超え、中学生では約7割となっています。

前回、前々回調査と比較すると、小学生下学年、中学生では「自分には、よいところがある」割合が増加する傾向が見られます。

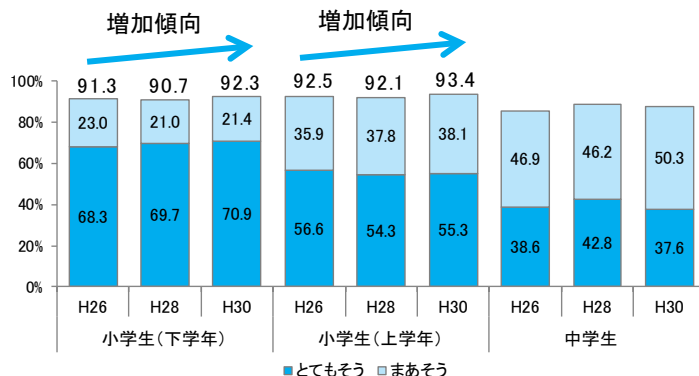


Q 自分や他の人を大切にしている。

小学生で「自分や他の人を大切にしている」の割合が増加する傾向が見られる。

「自分や他の人を大切にしている」(「とてもそう」+「まあそう」)の割合は、小学生で9割を超え、中学生では8割を超えています。

前回、前々回調査と比較すると、小学生の「自分や他の人を大切にしている」割合が増加する傾向が見られます。



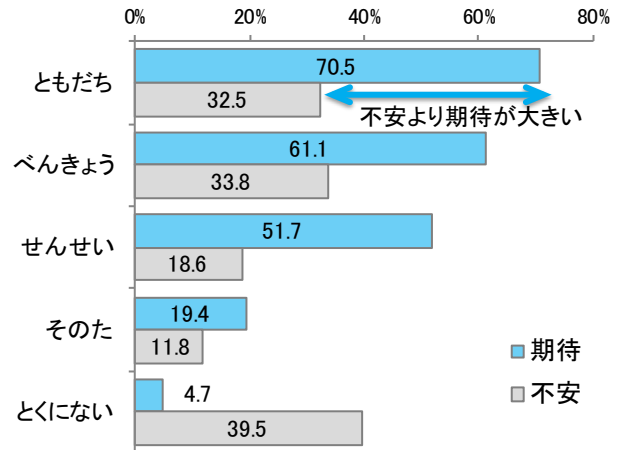
6. 進学先の生活についての不安と期待

Q 幼稚園・こども園・保育園のころ、小学校生活について「期待や楽しみ」「心配や不安」に感じていたことは何ですか（小学1年生のみ対象・複数回答）。

小学校入学前に感じていたのは、心配や不安より、期待や楽しみの割合の方が大きい。

小学校生活について「期待や楽しみ」に感じていた割合は、「ともだち」が最も多く、続いて「べんきょう」「せんせい」となっています。「心配や不安」に感じている割合は、多い順に「とくにない」「べんきょう」「ともだち」「せんせい」となっています。どの項目も、「心配や不安」より「期待や楽しみ」に感じていた割合の方が高くなっています。

心配や不安について「とくにない」は約4割となっています。



Q 中学校生活について、「期待や楽しみ」「不安や心配」「入学後困った」と感じていたことは何ですか（中学1年生のみ対象・複数回答）。

中学校入学前に不安や心配に感じていた割合より、入学後困ったことの割合の方が少ないが「勉強」については約4割の生徒が入学後困ったと感じている。

中学校生活について「期待や楽しみ」に感じていた割合は「新しい友だち」「部活動」「先生」の順に高くなっています。「心配や不安」に感じていた割合は、「勉強」「新しい友だち」「上級生」の順で高くなっています。「勉強」「学校のきまり」「上級生」「先生」については、期待より不安に感じていた割合の方が高くなっています。

「入学後困ったこと」は、「勉強」「学校のきまり」「部活」の順で高くなっています。

